

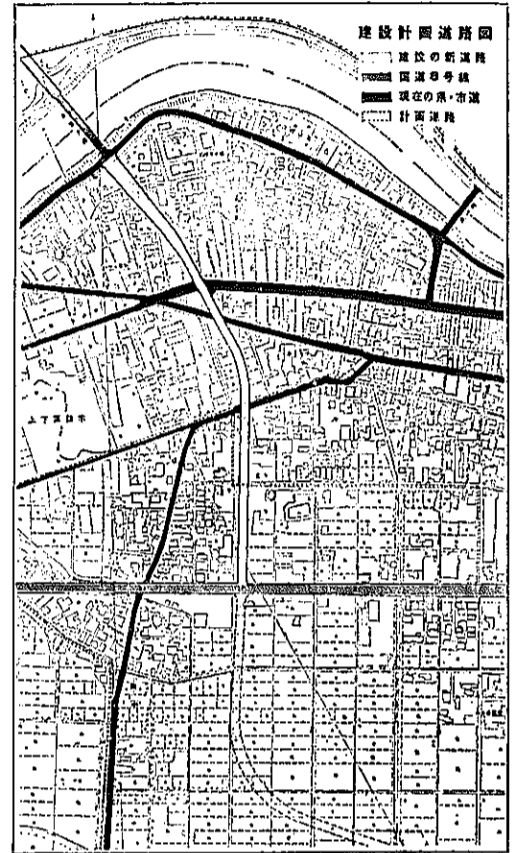
▲今年度中に完成予定の、新富月橋取り付け道路工事も急ピッチに進められています。

十年目を迎えた

### 都市計画街路事業

## バイパス建設へ

国道八号線の縦貫とともに、狭い道路を広げ、産業文化の発展に合う街路網をつくらう——と昭和三十九年から、本格的に工事が着手された都市計画街路事業。その工事もすでに十年目を迎え、交通量の増大と合わせ、新たな期待が寄せられています。



く要望しています。

この他にも、鯉沼・古川線、田中・四ツ野野線など五路線と諏訪木・七軒線、古川・諏訪木線の残り路線、総延長で十一キロの整備計画が予定されています。

私たちの町には、鉄道がとおっていません。生産物を出荷するには整備された道路網が重要な役割を果たします。

これらの事業が強力に進むにつれ、私たちの町もより一層発展するものと期待されます。

### 正しい届け出でみんなニコニコ

## 戸籍はあなたの顔です

戸籍は日本国民の登録簿です。出生、死亡をはじめ、婚姻、養子縁組などによる、親族関係や身分関係を戸籍簿に記載しておく、必要なときにその証明ができるよう、明らかにしておくものです。

大事な戸籍は、皆さんの届け出によって作られます。まちがった届け出をすると、戸籍にまちがった記載がされ、届け出をしないと、いつまでも戸籍に記載されません。

結婚シーズン—届けは忘れずに

すばらしい式をあげても、結婚届けを忘れると、法律上の夫婦とはいえません。いわゆる内縁関係としか認められません。届け出用紙は、市民課と各地区の駐在室にあります。結婚式

## 国道に信号機を増設

場所は 下塩俵地内の二か所  
市役所入り口



▲交通安全委員会が、事故防止のため、交通渋滞を解消し、歩道橋を渡ったり、遠回りをする必要がなくなりました。

国道八号線に新たに信号機が設置されました。場所は、大野橋のたもと下塩俵地内(工費九十三万三千円)と市役所入り口(工費百九十六万円)の二か所です。こんな設置された場所は、ピーク時に車の渋滞が続き、右左折するのに一苦労の場所。とくに、下塩俵の信号機設置は、地元の人たちから強い要望があったところです。また、市役所入り口に信号機がついたことで、バスを利用して市役所や白根荘へ訪れる市民にとっては大変便利。いままでのように、歩道橋を渡ったり、遠回りをする必要がなくなりました。



従って庄瀬新蔵は正に富国強兵政策を行うための拠点の一つを荷わされたのである。これはまた人口の激入と開発の急テンポを意味する。

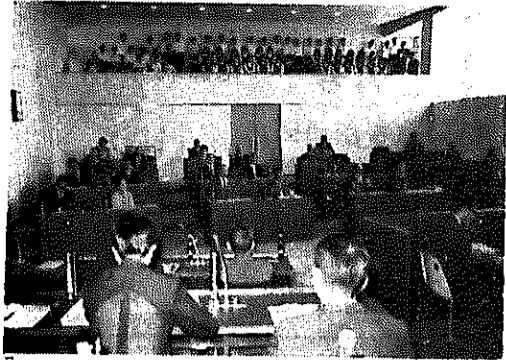
### 白根の

## おいたち

この頃(天文元年(一五三二))に山崎野に恩長寺が建立され同十二年に戸頭が開発されたという。寺院が簡易な行政事務を担当し、合わせて地域の精神的支柱となっていたから、白根地区方面が地域社会として機能を、はたしてつづけたことがうかがわれる。

また、永禄元年(一五五八)頃に菱沼が開発されたという。要するに、先を争うように沼沢の突起部に集結し集落を置いて細部に開発の手が加えられ、しだいに北上していったこと、つまり庄瀬はもとより白根方面の準備中に取り寄せておくようにしよう。戸籍についての相談は市民課(電話二二二二二二)でおこなっています。お気軽におかけください。

面へ開発が急速に進行していったと考えられるのである。伝承によると、武田信玄没する翌年、天正二年(一五七四)に川中島の合戦に破れた、村上周防守義清の郷士山半兵衛重勝という者が、白根村の名主となり新発田城主溝口伯耆守から治村を命ぜられたという。しかし、史実によると村上氏が上杉氏と合戦したのは天文二十二年(一五五三)であるけれども、ともかくのちに慶安二年に中之口川の西側が村上領となり西白根村になったという。ちなみに、江戸末期まで狭義に白根郷といえは旧白根町と西蒲原郡味方村白根とを合わせた地域を呼称した。従って現在「越後白根大風合戦」という呼び方にその名残りを止めているわけである。ともかくこの頃白根村は名主を置くほどの地域社会に成長していた。要するに小吉島の重点が茨倉根から庄瀬、さらに白根へと移っていった。伝承によると、当時の中之口川は二間位の細流であったという。このため、天正十年から慶長二年にかけて直江山城守が信濃川、中之口川を修築し、開拓の大動脈を整備した。(次号へつづく)



三十九年に始められた工事は諏訪木・七軒線の整備改良。一の町恵光寺から、諏訪木保育園前をとり、変電所の東側に渡る全長三百八十メートル、幅員十二メートルの市道をつくる工事は、拡幅も舗装も完了しています。現在は、古川・諏訪木線のうち、昨年完成した新富月橋と国道八号線を結ぶ、バイパス(全長六百四十一・六メートル)工事が行なわれています。

同工事は、恵光寺前の道路から国道まで、新富月橋の取り付け道路(橋脚道路)の二区間に別けて行なっています。恵光寺前から国道までの道路は全長四百二十七メートル、幅員十二メートルの中に両側一・五メートルの歩道がつきます。取り付け道路は、長さ九十八・六メートル、車道六・五メートル。一・五メートルの歩道が設けられます。しかし、恵光寺前から取り付け道路までの百六十六メートルについては、工事が遅れる見込みから、市では早期完成のため、県へ強く思っていたのに……。もうすぐ第一中学校も完成するようですが、白井中学校のふくまの第二中学校の建設もどうか完成させてください。

### 市議会を傍聴して

白井中三年 五十嵐 一恵

そうならば、友だちもたくさんで楽しめたらいいなあ——なんて考えていました。でも中学生生活も今年で終わりがんばってほしいです。



ママ、かならず届けね



### 桜並木の白井堤防

春になると美しい桜が咲きほころぶ白井の堤防。冬になれば、信濃川から吹きつける風はつめたく、行きかう人々は思わず首をすくめます。

写真【上】道路整備のされていない昭和16年当時の堤防  
【下】現在は大郷～庄瀬まで全線舗装の堤防  
(白井・金子文次さん保存)

